

<p>地理歴史科 学習指導案</p> <p>岡山県立岡山一宮高等学校 普通科 3年3組</p> <p>令和4年11月8日(火) 第6校時 地理歴史科教室</p> <p style="text-align: right;">指導者 教諭 赤畠資佳 長原有紀 鈴鹿裕一</p>			
単元 題材)	<p>現代的な諸課題の形成と展望</p> <p>答えのない問い「科学技術の進展は人類を幸せにした」の仮説を通じて協働する</p>		
目 標	<p>(1) 「知識及び技能」に関する目標</p> <p>現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に日本や世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標</p> <p>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり相互に関連付けたりするなどして主題について多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標</p> <p>地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに対する他者の考えを聞き、自身の考えを深化させようとする。</p>		
指 導 上 の 立 場	<p>○生徒の実態</p> <p>本クラスは普通科文系クラス(男子11名、女子32名)である。素直で穏やかな生徒が多く、また学習に対して非常に前向きであるため、日頃から活発な雰囲気での授業を進めることができるクラスである。</p> <p>○単元(題材)観</p> <p>既習内容を多面的・多角的に考察したり、現代の諸課題解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる単元である。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることができる単元である。</p> <p>答えのない問いにアプローチする困難さはあるものの、自身と他者の考えを基に、多様な意見に共感や反論をしながら納得解を導く。</p> <p>○指導観</p> <p>授業者は、「科学技術の進展は人類を幸せにした」という問いに対して、既習内容を基に生徒に考察するヒントを与えるが、「幸せにした」「不幸せにした」と意図的に導かないよう注意する。</p>		
単 元 の 評 価 基 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	諸資料を収集し、課題を追求したり解決するために諸資料を読み取るために必要な知識を有している。	既習内容や新たに身につけた知識や技能を活用して、自身の思考や判断を論理的に表現することができる。	考察、構想したことを論拠を基に説明し、他者と議論などを行って考えを深めようとしている。

本時案（第一次）		
目 標	答えのない問いについて根拠に基づき誰もが納得する納得解を説明する力を身につける。	
学習活動	指導・支援上の配慮事項	評価規準・方法など
1 本時のめあてと流れを確認する。	<p>※授業前にクラスルームを開き、自分のグループのジャムボードを開かせておく。グループ活動ができるようあらかじめ机を班の形態にさせておく。</p> <p>「答えのない問いについて、根拠に基づき誰もが納得する納得解を説明する力を身につける。」</p> <p>伸ばしたいiCを示す。（以下の通り）</p> <p>I 情報分析活用力 II 論理的思考力</p> <p>III コミュニケーション力</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 本時の問い：科学技術の進展は人類を幸せにしたか </div>		
2 日.世.地の分野で問いに関する既習事項を確認する。		
3 本時の問いに対する解答の根拠となる具体例を探す。（10分）	Chromebook や世界史、地理、現代社会の資料集等を利用させ、自説の根拠となる資料を探させる。集めた資料は自分の班のジャムボードに貼らせる。	
4 3で考えた解答と根拠について班内で順に発表する。（3分）	必ず資料を示しながら根拠を持って説明させる。	
5 班の意見を集約し、ポスターを作成する。（15分）	ジャムボードにフォーマットを用意し、そこに入力させながら作らせる。人に説明し納得してもらうために。どのような資料が有効であるか考えさせながら作成させる。	
ポスター発表		
クラスルームのフォームスに振り返りを入力する。	授業前と授業後で自身にどのような変容があったかも踏まえて書かせる。	

